

2020年度教育研究活動報告用紙(様式9)

氏名 今村 浩司	職名 教授	学位 修士(福祉社会)(福岡県立大学)
----------	-------	---------------------

研究分野	研究内容のキーワード
メンタルヘルス(精神保健福祉)領域におけるソーシャルワーク	ソーシャルワーク、臨床実践、メンタルヘルス(精神保健福祉)、生活支援、権利擁護、成年後見、触法障害者、更生保護

研究課題
メンタルヘルス領域における地域生活支援に関する研究 精神科病院からの長期入院者の退院支援・地域移行に関する研究 精神保健福祉士の専門性向上に関する研究 精神障害者の成年後見に関する研究 触法障害者・高齢者の地域定着に関する研究 諸外国におけるメンタルヘルスサポートシステムの歴史的変遷の研究

担当授業科目
相談援助の基盤と専門職(福祉学科1年通年必修4単位) 福祉入門(福祉学科1年前期必修2単位) 精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅰ(福祉学科3年前期選択4単位) 精神保健学(福祉学科3年後期選択4単位) 精神障害者地域生活支援論(福祉学科4年後期選択2単位) 精神保健福祉援助実習指導Ⅰ(福祉学科3年通年選択2単位) 精神保健福祉援助実習指導Ⅱ(福祉学科4年通年選択2単位) 精神保健福祉援助演習Ⅰ(福祉学科2年後期選択1単位) 精神保健福祉援助演習Ⅲ(福祉学科4年後期選択1単位) 精神保健福祉援助実習Ⅰ(福祉学科3年選択4単位) 精神保健福祉援助実習Ⅱ(福祉学科4年選択4単位) ボランティア概論(保健福祉学部の看護学科・福祉学科・栄養学科1年前期選択1単位) ボランティア概論(人文学部の英語学科・観光文化学科1年前期選択1単位) 専門研究Ⅰ(福祉学科3年通年必修2単位) 専門研究Ⅱ(福祉学科4年通年必修2単位)

授業を行う上で工夫した事項(※ 助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項)
<p>授業科目名【相談援助の基盤と専門職】</p> <p>福祉学科1年で開講される、相談援助実践に不可欠な社会福祉援助技術(ソーシャルワーク)の基盤的要素と、その実施者の専門職であるソーシャルワーカー(社会福祉士・精神保健福祉士)の現状や課題の理解を深める、本学科における最も重要な講義科目の一つである。2020年度はwebによる講義が中心になったが、毎時間最初に導入材料として現代社会の状況をマスメディア等の資料を使用して状況を把握させ、特段専門職としての視点の形成に努めた。よりリアリティに学ぶために、社会福祉士、精神保健福祉士の資格を持つ、刑務所福祉専門官やスクールソーシャルワーカーの現任者をwebにてゲスト講師に招聘し講義を展開した。また、リアクションペーパー的な機能を使用して理解度を確認するとともに、予習、復習にかけた時間、利用した教材等々も記載させ、学んだことと感想の他に、本日の学生自己への点数も記載させ、次回の講義につなげるように工夫した。後期は、本講義において重要語句であるキーワードを設定し、毎時間の最初に確認テストを行い、理解を深めた。</p>

<p>授業科目名【福祉入門】</p> <p>対人サービスを行う福祉専門職養成のために、福祉学科 4 名の教員で、現実的な福祉実践臨床現場における活動などを、それぞれの設定したテーマに沿って、臨場感溢れリアリティな内容の授業を提供した。福祉専門職が実践にてどのような活動を展開しているのかを伝え、そのために必要なコミュニケーション、自己表現、チームワーク等の技能の習得の必要性を理解することを中心に展開させた。2020 年度は web 中心であったが、リアクションペーパー的な機能を利用して、次の担当の時間にそのフィードバックを必ず行うよう心掛けた。</p>
<p>授業科目名【精神保健福祉の理論と相談援助の展開 I】</p> <p>精神保健福祉士国家試験受験資格に必要な科目であるため、可能な限り国家試験を意識づけるように教授した。また、精神保健福祉士受験をしない受講生もいることから、毎時間オリジナルのレジュメを作成配付し、精神障害者に対するの援助技術全般の具体的実践事例を提示して説明を行い、視聴覚教材等も利用して、より理解の促進に努力した。毎時間 web にてリアクションペーパー的な機能を使用して、次の時間にそのフィードバックを必ず行うよう心掛けた。</p>
<p>授業科目名【精神保健学】</p> <p>精神保健福祉士国家試験受験資格に必要な必修科目であり、また教職課程においても必修である。可能な限り臨床的な状況にし、国家試験をも意識づけるように教授した。また、精神保健福祉士国家試験を受験しない受講生や教職以外の受講生もいることから、毎時間オリジナルのレジュメを作成配付し、精神保健学全般の具体的実践事例を提示して説明を行い、理解の促進に努力した。毎時間 Web にてリアクションペーパー的な機能を使用して、次の時間にそのフィードバックを必ず行うよう心掛けた。</p>
<p>授業科目名【精神障害者地域生活支援論】</p> <p>精神障害者の地域生活の現状と課題について、具体的実践事例を交えながら解説した。4 年後期に開講することから、精神保健福祉全般に対するの総まとめ的講義内容となるよう、これまでに学習して理解してきたことの整理整頓を促すために、振り返りを中心として理解を深めた。本年度は web 中心であったが、毎時間リアクションペーパー的な機能を使用して、次の時間にそのフィードバックを必ず行うよう心掛けた。</p>
<p>授業科目名【精神保健福祉援助実習指導 I】</p> <p>精神保健福祉士レーン担当の 3 人の教員合同で行うもので、事前にそれぞれの役割の分担を行って実習に対する理解を深めさせた。特に実習前及び実習後それぞれに学生の疑問に感じていることを整理させ、そのことについて調査をして学習できるよう工夫した。web ではあったが、実習指導という観点から、よりリアルに内容を展開させた。</p>
<p>授業科目名【精神保健福祉援助実習指導 II】</p> <p>上記同様 3 人の教員合同で行い、実習 I を踏まえた上で、更なるステップアップを目指していけるよう疑問点の整理や到達目標の具体的な設定などの詳細な指導を行って理解を深めさせた。より実践的な理解が深まるように、受講生全員で理解を深める努力をした。web ではあったが、実習指導という観点から、よりリアルに内容を展開させた。</p>
<p>授業科目名【精神保健福祉援助演習 I】</p> <p>精神保健福祉士としての導入の演習としての位置づけであり、まずは精神障害者とのかかわりの重要性を中心に理解を深めた。精神障害者のイメージやその家族の思い、地域社会での状況、精神科病院での場面設定等々を行い、グループ化して具体性を持って検討を深めた。また、グループ別に北九州市内の精神保健福祉に関する社会資源マップ作成を行い、実践に生かせる知識を深めた。web 中心ではあったが、次年度への、より専門的知識と実践での実習に対するのイメージも膨らませるよう心掛けた。</p>
<p>授業科目名【精神保健福祉援助演習 III】</p> <p>精神保健福祉士として現場実践を行う時に、必要と思われる技術の習得を中心に行った。Web ではあったが、特にソーシャルワーク場面で欠かせない面接技術やリハビリテーション技術を織り交ぜて、理論と併せて開設を行い、理解を深めさせた。さらには、学生に役割を持たせてロールプレイを行い、それぞれの観点からの体験させる講義の展開に努力した。また、4 年後期に開講することから、精神保健福祉士国家試験受験対策的な内容も併せて行うよう心掛けた。</p>
<p>授業科目名【ボランティア概論】</p> <p>人間総合科学の中の、地域創生分野の講義であり、ボランティアや地域貢献活動の理論や実践について学びを深めるとともに、自らボランティアや地域貢献活動に参加したりすることにより、自分自身の社会的有効性や存在価値を見出し、豊かな人生を目指すことを目的とした。社会の中で実際にボランティアや地域貢献活動を</p>

実践している5名の方をゲストスピーカー（外部講師）として招聘し、webではあったがさまざまな角度からのリアリティにあふれる具体的な講義を展開し、その現状と魅力が伝わるよう心掛けた。

授業科目名【専門研究Ⅰ】

16名のゼミ生に対して、精神保健福祉士・社会福祉士として現場実践力の重要性を考えて、できる限りの現場中心の話題提供を行った。それに対して感じた点や疑問点を言語化や文章化し、理解を深めさせた。よりリアリティを高めるため、精神科病院や福祉施設等のwebによる施設見学を行って、具体的現実感を習得させることに努力した。また、精神保健福祉士、社会福祉士の具体的なイメージを抱かせるために、専門職団体が開催する研修会等々の案内を常に行い、webによる参加を促進した。さらには、社会福祉士、精神保健福祉士の国家試験との関連性を、常に意識付けるように指導した。

授業科目名【専門研究Ⅱ】

14名のゼミ生に対して専門研究Ⅰを踏まえた上で、具体的に実践的な精神保健福祉士・社会福祉士としてのイメージを持たせるように指導を行った。また、学生それぞれに「卒業研究（ゼミ論）」のテーマを与え、学術的実践的アドバイスを行い、総まとめができるように指導を行い、研究成果を報告集としてまとめた。また、社会福祉士、精神保健福祉士ダブル合格と、医療や福祉の業界への就職という2つの目標を定めて活動をした。結果、ゼミ生全員の就職が内定し、社会福祉士と精神保健福祉士にダブル合格を含め、多数輩出することができた。今年度も、ゼミ生の合格者多数の結果であったので、次年度に向けても同様に取り組みたい。

学 会 に お け る 活 動

所属学会等の名称	役職名等（任期）	加入時期
日本精神保健福祉士協会（精神保健福祉士学会）	理事（2001年4月～2020年3月）	1994年～現在
日本社会福祉士会（社会福祉士学会）	代議員（2010年6月～2012年6月）	1996年～現在
日本社会福祉学会	代議員（2013年～現在）	1996年～現在
日本病院・地域精神医学会		2006年～現在
日本精神障害リハビリテーション学会		2008年～現在
日本精神保健福祉学会		2012年～現在
九州精神神経学会		2012年～現在
日本更生保護学会		2013年～現在

2020年度 研 究 業 績 等 に 関 する 事 項

著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
（著書） 1. 社会福祉士・精神保健福祉士養成講座6 「ソーシャルワークの理論と方法」	共	2021年2月	中央法規出版	①日本ソーシャルワーク教育学校連盟が編集した、社会福祉士・精神保健福祉士養成の「ソーシャルワークの理論と方法」に関する専門書である。 ②編集 日本ソーシャルワーク教育学校連盟 ③担当部分 第2章「ソーシャルワークの展開技法」における第2節「インテーク」（p.47～p.53）、第3節「アセスメント」（p.53～p.62）、第6節「アウトリーチ」（p.81～

2020年度 研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
2. 社会福祉士・精神保健福祉士養成講座 7「ソーシャルワーク演習」	共	2021年2月	中央法規出版	<p>p91)を担当した。</p> <p>④総頁数 320頁 A4版</p> <p>①日本ソーシャルワーク教育学校連盟が編集した、社会福祉士・精神保健福祉士養成の「ソーシャルワーク演習」に関する専門書である。</p> <p>②編集 日本ソーシャルワーク教育学校連盟</p> <p>③担当部分 第3章「支援の場に応じた相談援助の理解」における事例12「高齢者福祉施設 地域包括支援センターにおける多機関連携による認知症高齢者への危機介入」(p.164～p173)を担当した。</p> <p>④総頁数 322頁 A4版</p>
3. 社会福祉士・精神保健福祉士養成講座 9「権利擁護を支える法制度」	共	2021年3月	中央法規出版	<p>①日本ソーシャルワーク教育学校連盟が編集した、社会福祉士・精神保健福祉士養成の「権利擁護を支える法制度」に関する専門書である。</p> <p>②編集 日本ソーシャルワーク教育学校連盟</p> <p>③担当部分 第6章「成年後見制度」における第1節「成年後見制度の概要」(p.188～p194)、第2節「後見の概要」(p.194～p.200)、第3節「保佐の概要」(p.200～p.204)、第4節「補助の概要」(p.204～p.206)、第5節「任意後見の概要」(p.206～p.211)を担当した。</p> <p>④総頁数 324頁 A4版</p>
4. 「福岡県精神障がい者の障がい特性と支援技法を学ぶ研修」テキスト	共	2021年3月	福岡県精神保健福祉士協会	<p>①福岡県が指定した「精神障がい者の障がい特性と支援技法を学ぶ研修会」用のテキストある。</p> <p>②編集 福岡県精神保健福祉士協会</p> <p>③担当部分 「精神保健福祉法、関連法令、関連制度等の歴史</p>

2020年度 研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
				的背景」(p.1～p16)を担当した。 ④総頁数 111頁 A4版
(報告書) 「北九州市教育委員会事務点検・評価報告書(令和元年度実績)」	共	2020年9月	北九州市教育委員会	「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、教育委員会の管理及び執行状況について点検と評価を実施し、学識者としてコメントをまとめ報告書とした。
「北九州市不登校等に対する総合的な検討に関する有識者会議報告書」	共	2020年11月	北九州市教育委員会	北九州市における長期欠席児童生徒の現状や対策を整理し、今後の施策に対し6つ基本方針と新たな取り組みを提言としてまとめて報告書とした。
(翻訳)				
(学会発表等) 「遠隔システムを活用した遠隔実習に関する教育実践報告～学内・リモート実習を通してみた実習教育の効果・課題に関する一考察～」	共	2021年3月	日本ソーシャルワーク教育学校連盟九州ブロック教育研究大会	西南女学院大学福祉学科精神保健福祉士養成レーンの精神保健福祉援助実習におけるWeb実習に関する効果と課題を考察し報告を行った。 (○今村浩司・高口恵美・梶原浩介)

外部資金(科学研究費補助金等)導入状況(本学共同研究費を含む)			
(1) 共同研究			
研究題目	交付団体	研究者 ○代表者()内は学外者	交付決定額 (単位:円)
なし			

外部資金(科学研究費補助金等)導入状況(本学共同研究費を含む)			
(2) 個人研究			
研究題目	交付団体	交付決定額 (単位:円)	備考
なし			

社 会 に お け る 活 動 等

団体・委員会等の名称 (内 容)	役 職 名 等	任 期 期 間 等
日本精神保健福祉士協会 福岡県精神保健福祉士協会 福岡県精神科病院協会精神保健福祉士会 北九州地区精神保健福祉士協会 北九州地区社会福祉専門職5団体連絡協議会 北九州市手をつなぐ育成会 北九州成年後見センター 北九州市障害福祉ボランティア協会 北九州精神保健福祉事業協会 福岡地方裁判所 北九州市保健福祉局 北九州市精神保健福祉審議会 北九州市障害支援区分認定審査会 北九州市教育委員会スクールソーシャルワーカー運営協議会 福岡県教育委員会スクールソーシャルワーカー運営協議会 北九州市高齢者支援と介護の質の向上委員会 北九州市要保護児童対策地域協議会 福岡県精神保健福祉審議会 福岡県精神医療審査会 厚生労働省（社会福祉振興・試験センター）精神保健福祉士国家試験委員会 北九州市障害者差別解消法委員会 北九州市社会福祉協議会	理事 副会長 顧問 会長 代表世話人 苦情解決委員長 理事 理事 評議員 精神保健参与員 オンブズパーソン 委員 委員 委員 委員 委員（地域包括支援部会兼務） 委員 委員 委員 委員長 評議員	2001年4月～2020年3月 2001年4月～ 2012年7月～ 2002年9月～ 2006年4月～ 2005年10月～ 2006年3月～ 2005年4月～ 2001年4月～ 2005年7月～ 2012年4月～ 2005年4月～ 2006年4月～ 2008年4月～ 2008年4月～ 2006年4月～ 2008年7月～ 2013年4月～ 2013年4月～ 2014年6月～2021年5月 2016年8月～ 2021年3月～

学 内 に お け る 活 動 等 （役職、委員、学生支援など）

西南女学院大学・短期大学部 地域連携室 室長
 西南女学院大学 入学試験 委員
 西南女学院大学 精神保健福祉研究会 顧問（精神保健福祉士養成レーンの卒業生と在学生の会）
 福祉学科 精神保健福祉士養成レーン 担当